

1月の衛研検査情報

～トピックス～

横浜市内の蚊成虫生息状況調査結果 ー平成24年6～10月ー

医動物担当では、健康福祉局蚊媒介感染症サーベイランス事業の一環として主に市内公園および港湾地区において感染症媒介蚊生息状況調査を行っています。その地域特有の蚊の生息状況を把握しておくことは、ウエストナイル熱やデング熱等の蚊媒介感染症が発生した場合に、防除対策計画を立てるうえで重要な資料となります。

平成24年度は、6月から10月にかけて横浜市内19ヶ所(各10回)で、各区福祉保健センター生活衛生課と連携し、蚊成虫捕獲調査を行いました。調査には、CDC型バッテリー式ライトトラップという昆虫類を捕獲する機器を用いました。蚊を誘引するためにドライアイス1kgをトラップ屋根付近に設置し、トラップを原則として一昼夜運転しました。捕獲された蚊は調査地点ごとに種類を同定し、雌成虫については、ウイルス検査担当に供出しました。

今回は、市内における蚊成虫生息状況調査結果について報告します。

主な結果 捕獲された蚊成虫は、6属11種 8,544個体でした。最も多く捕獲された種類は、ヒトスジシマカ 6,934個体(81.16%)でした。次いで、アカイエカ群が1,125個体(13.17%)でした。

残留農薬検査 (その3)

当所では、横浜市内に流通する農作物等の食品に残留する農薬の検査を行っています。平成22年度より一農作物当たりの検査項目数を追加し、検査体制を一層強化しています。

今回は、平成24年9月から11月までに食品専門監視班より搬入された農作物の検査結果を報告します。

主な結果 市内産農作物からは、検出されませんでした。国内産農作物及び輸入農作物からは、基準を超えて検出されたものは、ありませんでした。詳細は、本編を御覧ください。

衛生研究所WEBページ情報

横浜市衛生研究所WEBページは、感染症情報や保健情報、薬事情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報等を提供しています。検査情報月報では、アクセス件数をもとに、どのような情報に関心が寄せられているかを解説しています。



主な結果 平成24年11月は、マイコプラズマ肺炎、インフルエンザワクチン、クロストリジウム・ディフィシル感染症に関するページのアクセスが多くみられ、総件数は166,210件でした。



詳しくは横浜市衛生研究所ホームページを御覧ください
<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/inspection-inf/>



横浜市衛生研究所では、所内で行われた試験検査等の結果に解説を加えて、毎月、「検査情報月報」として報告しています。